

1 事業概要

政策体系	SDGs	広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	3.6 11.2	○自転車等駐車場の維持管理 ○郡山駅前自転車等放置防止の啓発と誘導 ○放置自転車等の撤去	○放置自転車等が原因となる交通障害や事故の防止 ○超高齢社会に対応した移動円滑化の促進 ○街並みの景観向上
施策	2誰もが安心して快適に暮らせるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
放置自転車は全国的な社会問題となっており、郡山駅前周辺においても歩道等に放置自転車等があふれ、通行の支障となり、また、駅前等の景観も悪くなっていた。	自転車等駐車場を整備するとともに、自転車等放置防止誘導員を配置し、自転車等の放置防止の啓発と自転車等駐車場の利用の呼び掛けにより、自転車利用者により駐車禁止等区域の周知とマナーの向上が図られ、放置自転車が減少してきている。	今後も交通障害や事故の防止はもとより、移動の円滑化を図るため、放置自転車対策が必要である。 また人口の減少に伴い有料自転車等駐車場の使用料と利用台数は、将来、減少で推移していくものと思われるが、放置自転車対策のために自転車等駐車場の必要性は高い。	有料自転車等駐車場については、電車の始発及び終電や高速バスの発着時間に合わせた営業時間の拡充要望があり、無人化導入の検討も含め費用対効果を検証する必要がある。

2 事業進捗等(指標等推移)

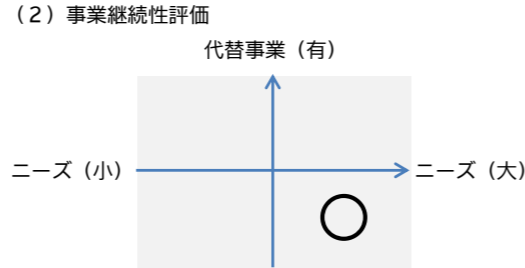
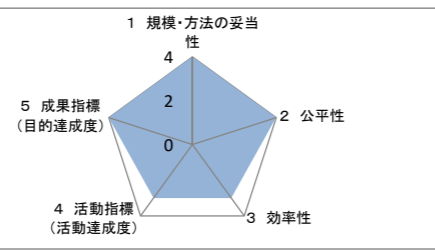
指標名	指標名	単位	まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		八次実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
			2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度	2026年度	2022年度	2025年度							
対象指標	市民	人		330,787	326,402	324,586												
活動指標①	口頭による指導(誘導)件数	件	380	210	360	104	340	127	320		300		280	260				
活動指標②	チラシによる指導警告件数	件	1,600	307	1,500	222	1,400	191	1,300		1,250		1,200	1,150				
活動指標③	撤去台数(放置禁止・規制区域内)	台	240	52	220	36	210	60	200		190		180	170				
成果指標①	郡山駅周辺1日あたりの平均自転車等放置台数	台	24	18	23	15	22	17	21		20		20	20			23	20
成果指標②	有料自転車等駐車場使用料	千円	25,800	21,608	25,300	20,612	24,800	19,746	24,300		24,000		24,000	24,000			25,800	25,000
成果指標③	有料自転車等駐車場利用台数	台	900,000	711,795	900,000	667,131	900,000	630,391	900,000		900,000		900,000	900,000			900,000	900,000
単位コスト(総コストから算出)	有料駐車場利用台数1台あたりのコスト	千円		0.09		0.10		0.13	0.09		0.09		0.09	0.09				
単位コスト(所要一般財源から算出)	有料駐車場利用台数1台あたりのコスト	千円		0.06		0.07		0.10	0.06		0.06		0.06	0.06				
事業費		千円		59,124		59,921		76,904	70,451		70,451		70,451	70,451				
人件費		千円		7,705		5,501		6,208	7,326		7,326		7,326	7,326				
歳出計(総事業費)		千円		66,829		65,422		83,112	77,777		77,777		77,777	77,777				
国・県支出金		千円		2,414														
市債		千円																
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		21,890		20,688		19,923	27,465		27,465		27,465	27,465				
その他		千円																
一般財源等		千円		42,525		44,734		63,189	50,312		50,312		50,312	50,312				
歳入計		千円		66,829		65,422		83,112	77,777		77,777		77,777	77,777				
	実計区分	評価結果		継続	継続	拡充	継続	継続		継続								

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費(事業費・人件費)分析結果
郡山駅周辺における自転車等放置対策については、誘導員の導入効果によりマナーの向上が図られてきており、前年度実績に比べ、撤去台数や口頭による指導(誘導)件数は増加したものの、チラシによる指導警告件数は減少している。	郡山駅周辺における自転車等放置台数は、誘導員導入前2002年度以前(平成14年度以前)と比べ大きく減少し、近年は横ばい状態が続いている。 有料自転車等駐車場の使用料と利用台数については、新型コロナの影響から通勤や通学の利用者が減り減少傾向である。	【事業費】 2022年度(令和4年度)は、西口第一自転車等駐車場の塗装修繕を実施したことなどにより2021年度(令和3年度)に比べ事業費が増加した。 【人件費】 事業費の増加に伴い人件費も増加したものの。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	3
4 活動指標(活動達成度)	3
5 成果指標(目的達成度)	4



継続	一次評価コメント
継続	これまで自転車放置の啓発活動等の取組により自転車等利用者のマナー向上が図られてきているものの、郡山駅前周辺での誘導員による指導(誘導)・警告数や1日あたりの平均自転車等放置台数は一定程度存在するため、引き続き公共の場所における放置自転車等を防止することにより、通行機能及び歩行者の安全を確保し良好な生活環境の維持に向けて取り組んでいく。

5レス

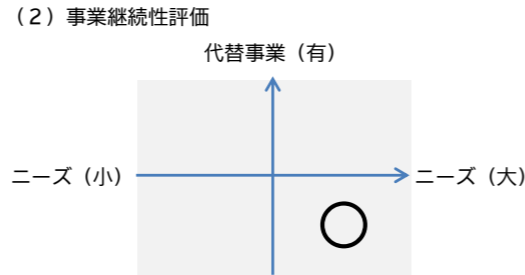
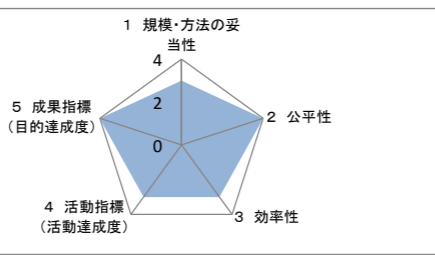
カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議レス)
	○			

気候変動対応	DX(デジタル市役所)	部局間協奏
○	○	

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	3
4 活動指標(活動達成度)	3
5 成果指標(目的達成度)	4



継続	二次評価コメント
継続	当該事業は、市内の自転車等駐車場の維持管理を行うとともに、誘導員を配置して指導や放置自転車の撤去等を行う事業である。 令和4年度は、前年度と比較して、口頭指導及びチラシによる指導警告件数が326件から318件(△8件)に微減となったが、放置禁止・規制区域内の撤去台数は36台から60台(約1.7倍)に増加した。 駐車場利用者数が減少した一方、撤去台数が増加したことや1日あたり平均自転車等放置台数が横ばいとなっていることから、依然として放置自転車等に対する意識が浸透していない状況が窺える。 自転車等放置対策は、交通障害や事故の防止及び街並みの景観向上に寄与するため、今後においては、実効性のある周知方法について検討しつつ継続して事業を実施する。

(参考) 令和4年度カイゼンのための行動計画

--

1 事業概要

Table with 5 columns: Policy System, SDGs, Broad Area Business, Methods, and Intent/Purpose. Row 1: Overview (Group) V 'Future of easy and comfortable living'. Row 2: Strategy 3 'Living where everyone can move comfortably without worry'.

Table with 4 columns: Business Start Environment (Background), Current Environment, Future Environment (Forecast), and Resident Sentiment Analysis. Content includes details on public transport usage trends and regional bus service challenges.

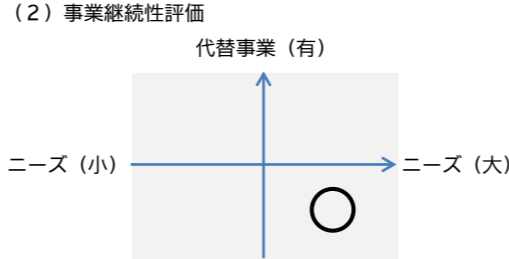
2 事業進捗等 (指標等推移)

Large data table showing progress metrics from 2020 to 2026. Columns include target names, units, and performance data. A red box highlights the 2024 fiscal year data for total expenses and revenue.

Table with 3 columns: Activity Indicator Analysis Results, Outcome Indicator Analysis Results, and Total Business Expense Analysis Results. Contains detailed text reports on regional council activities and cost breakdowns.

3 一次評価 (部局内評価)

Table (1) Business Method Evaluation. Lists criteria like 'Scale/Method Appropriateness' (3), 'Fairness' (4), 'Efficiency' (3), 'Activity Indicator' (4), and 'Outcome Indicator' (4) with a corresponding radar chart.



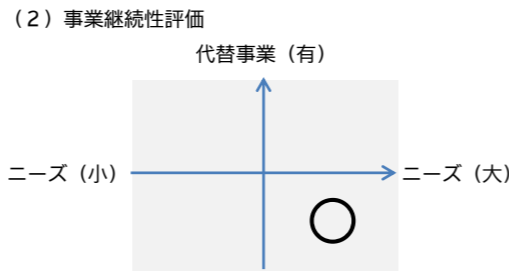
Primary Evaluation Comment. Text describing the service's utility for elderly residents and future needs, concluding with a 'Continue' (継続) status.

Table with 5 columns: Counterless, Cashless, Paperless, Fileless, and Paperless (Meetingless). All cells are empty.

Table with 3 columns: Climate Change Response, DX (Digital City Office), and Inter-departmental Cooperation. All cells are empty.

4 二次評価

Table (1) Business Method Evaluation. Identical to the primary evaluation table, showing scores and a radar chart.



Secondary Evaluation Comment. Text detailing the service's role in improving mobility for elderly and disabled residents, concluding with a 'Continue' (継続) status.

Table with 1 column: (Reference) Action Plan for FY2024 Improvements. The cell is empty.

1 事業概要

政策体系	SDGs	広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	11.b	○	公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、賑わいのあるまちなみにするため、土地区画整理事業を行う。事業用地の先行取得、建築物等調査算定業務、換地設計業務等を行い、同時に地区内権利者と協働でまちづくりを推進する。また、都市計画道路日の出通り線を含む未整備な公共施設の整備を推進する。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
郡山駅前に至近という好立地条件にもかかわらず、低層木造住宅や空き店舗が目立ってきており、土地区画整理事業の手法による面的な整備を行い、都市機能の更新が望まれている。	周辺の整備事業としては、複数の市街地再開発事業、駅前広場整備が実施され、立地適正化計画による都市機能誘導区域が策定されている。	郡山駅の西側に隣接した恵まれた立地条件を有していることから、日の出通り線等の公共施設を整備することで、宅地の有効利用を促進し、建築物の耐震・不燃化を誘導するとともに、郡山市の玄関口に相応しい良好な市街地が形成される。	都市機能が更新されることから、当事業が早期に完了することが望まれている。

2 事業進捗等(指標等推移)

指標名	指標名	単位	まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		八次実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針		
			2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度	2026年度	2022年度	2025年度								
対象指標	土地所有者(大町土地区画整理事業)	人		58	58	58	58	58											
活動指標①	建物移転戸数(単年度)	戸	8	8	8	8	3	7	2	0	0	0							
活動指標②	道路整備延長(単年度)	m		85	208	244	30	193	150	139	139	139							
活動指標③																			
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	69.6	70.3	72.3	88.9	87.5	83.3	88.1	94.8	100.0	100.0	88.1	101					
成果指標②	仮換地指定率	%	31.5	48	66.7	55	82.5	61.3	90.0	100.0	100.0	90.0	100						
成果指標③	公共施設整備率(道路)	%	0.0	10	24.5	51	38.1	62.9	67.4	83.7	100.0	100.0	67.4	100					
単位コスト(総コストから算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		62,053	59,729	27,957	618,333	70,597	70,833	70,833									
単位コスト(所要一般財源から算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		40,440	32,143	8,701	572,295	66,474	65,079	65,079									
事業費		千円		546,915	1,083,345	322,307	371,000	473,000	340,000	340,000									
人件費		千円		30,178	27,623	29,954	27,623	27,623	27,623	27,623									
歳出計(総事業費)		千円		577,093	1,110,968	352,261	398,623	500,623	367,623	367,623									
国・県支出金		千円		201,000	513,100	126,100	175,000	232,500	155,000	155,000									
市債		千円				113,400	0	0	0	0									
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円				0	0	0	0	0									
その他		千円				3,123	196,000	240,500	185,000	185,000									
一般財源等		千円		376,093	597,868	109,638	27,623	27,623	27,623	27,623									
歳入計		千円		577,093	1,110,968	352,261	398,623	500,623	367,623	367,623									
実計区分	評価結果		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続										

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費(事業費・人件費)分析結果
当地区では、日の出通り線及びベドストリアンデッキの整備を優先的に進めており、令和4年度においては日の出通り線の整備及びベドストリアンデッキの設計委託を実施したところである。また、商業ビルの建物移転補償や、無電柱化に向けた電柱移設補償等を実施した結果、計画値に比較して建物移転戸数及び道路整備延長は増となった。	設計委託や道路整備、建物移転補償等を実施したが、事業計画の変更により総事業費を1,271百万円増額したことで、事業費ベースの進捗率は5.6%低下した。しかし、変更前の総事業費に対する事業費ベースの進捗率は101.5%であり、実質は12.6%増加であった。	【事業費】 事業の進捗に伴い道路整備延長や建物移転戸数が減少したことから、事業費は大きく減少した。 【人件費】 前年度に比較して事業費は減少したが、権利者交渉や各事業者間の調整等に時間を要したため、人件費は増加した。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	4
5 成果指標(目的達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業(有)

継続

一次評価コメント

当地区では、郡山駅西口に隣接する地区として都市機能の向上を目指し、日の出通り線やベドストリアンデッキ等の整備を優先的に進めてきたところである。今後も公共施設等の整備を継続して実施し、郡山市の玄関口にふさわしい良好な市街地の形成のため事業進捗を図る。

5レズ

カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議室)
			○	

気候変動対応	DX(デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	4
5 成果指標(目的達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業(有)

継続

二次評価コメント

当該事業は、大町地区について土地区画整理事業により面的な整備を行い、市街地の活性化を図るものである。令和4年度は、日の出通り線の整備及びベドストリアンデッキの設計委託を実施したところである。事業費ベースの進捗率が計画を下回っているが、これは事業計画の変更に伴うものであり、計画変更前の総事業費に対する事業費ベースの進捗率で比較すると、前年度から12.6ポイント上昇しており、順調に事業が進捗していることがうかがえる。都市計画道路日の出通り線の早期供用を目指し、今後も継続して事業を実施する。

(参考) 令和4年度カイゼンのための行動計画

--

1 事業概要

政策体系	SDGs	広域事業	手段	意図(目的)	
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	11.3 11.b	-	土地区画整理事業施行地区内の道路等の公共施設整備、建物移転、宅地整地及び保留地売却を行う。	中心市街地と周辺部を結ぶ交通体系の確立と計画的な都市基盤の整備により、水害等の災害の防止を図り、健全で新しい市街地の形成に努める
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち				

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
中心市街地から近郊に位置しており、中心市街地と周辺部を結ぶ幹線道路等の整備と計画的な市街地整備が必要な地域だった。	土地区画整理事業が進み道路、公園等の整備により健全な居住環境として形成してきている。 施工範囲の一部が区内に含まれる県事業の逢瀬川河川改修事業が進んでいる。	更なる土地区画整理事業の推進により、周辺地区との道路網の確立に併せた一体的な都市基盤の整備の促進により安全・安心で快適な生活基盤が整備される。	土地区画整理事業の事業期間が長期にわたっているため、権利者から移転先の宅地整地、区画道路の整備の早期実現など、早期の事業完了が望まれている。 また都市計画道路東部幹線の早期開通が望まれている。

2 事業進捗等(指標等推移)

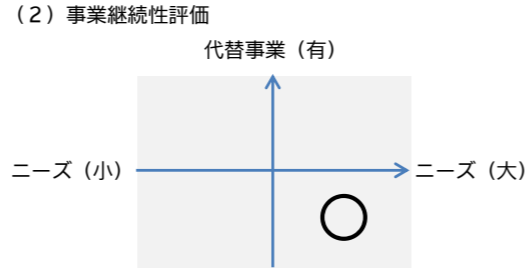
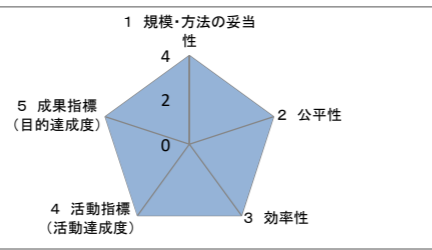
指標名	指標名	単位	まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		八次実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針		
			2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度	2026年度	中間指標	最終指標								
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2022年度	2025年度			
対象指標	土地の権利者数	人		402		402		402											
活動指標①	道路整備延長(単年度)	m	0.0	341	110.0	212	355.0	443	633.8		340.0			250.0		480.0			
活動指標②	建物移転戸数(単年度)	戸	15	7	7	5	3	4	6		4			0		2			
活動指標③																			
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	101.0	88.7	69.0	92.7	72.7	87.3	80.8		84.3			87.2		90.0	80.8	90	
成果指標②	仮換地指定率	%	81.0	86.5	88.6	87.0	87.5	87.5	88.5		89.5			90.5		91.5	88.5	92	
成果指標③	道路整備延長(累計)	m	8,120.6	8,588	8,230.6	8,800	8,585.6	9,243	9,164.9		9,504.9			9,754.9		10,235	9,164.9	10,235	
単位コスト(総コストから算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		156,207		131,092		141,476	130,629		187,840			191,638		184,679			
単位コスト(所要一般財源から算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		121,519		117,788		33,457	126,848		179,091			181,079		173,742			
事業費		千円		465,247		493,747		1,091,073	1,058,092		657,440			555,750		517,100			
人件費		千円		34,614		30,622		26,588	30,622		30,622			30,622		30,622			
歳出計(総事業費)		千円		499,861		524,369		1,117,661	1,088,714		688,062			586,372		547,722			
国・県支出金		千円		0		7,500		235,000	100,000		72,500			112,500		50,000			
市債		千円						568,800	0		0			0		0			
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		20,000		35,707		47,514	0		0			0		0			
その他		千円		90,999		10,012		2,036	958,092		584,940			443,250		467,100			
一般財源等		千円		388,862		471,150		264,311	30,622		30,622			30,622		30,622			
歳入計		千円		499,861		524,369		1,117,661	1,088,714		688,062			586,372		547,722			
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費(事業費・人件費)分析結果
当地区では、都市計画道路東部幹線の整備を優先的に進めており、令和4年度においては東部幹線橋梁上部工の整備を実施したところである。 また、地区南側に隣接する一級河川逢瀬川の河川改修に併せて、区画道路整備や建物移転補償等を実施した結果、計画値に比較して増となった。	道路整備や建物移転補償等を実施したが、事業計画の変更により総事業費を2,161百万円増額したことで、事業費ベースの進捗率は5.4%低下した。しかし、変更前の総事業費に対する事業費ベースの進捗率は100.6%であり、実質は7.9%増加であった。	【事業費】 前年度と比較し道路整備延長は増、建物移転戸数は減となり、東部幹線における橋梁整備及び道路改良工事を優先に実施したことから事業費も増加した。 【人件費】 事業費は増加し、権利者交渉や各事業者間の調整等に相応の時間を要したが、人件費は減少した。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	4
5 成果指標(目的達成度)	4



継続	一次評価コメント
継続	当地区では、区内に位置する都市計画道路東部幹線の環状道路としての整備が急がれていることから、橋梁区間の上部工を継続費を設定して整備を進めてきたところである。 また、一級河川逢瀬川の河川改修工事が進み、住宅地の地盤も堤防に併せて上げることから、区画道路整備や建物移転補償等を継続して実施し、健全な市街地の形成のため事業進捗を図る。

5レズ

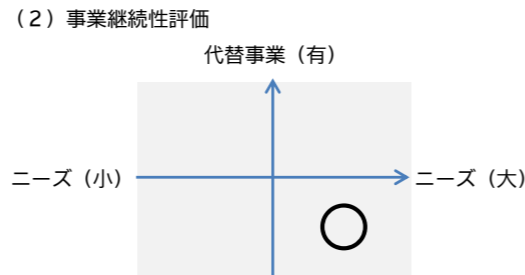
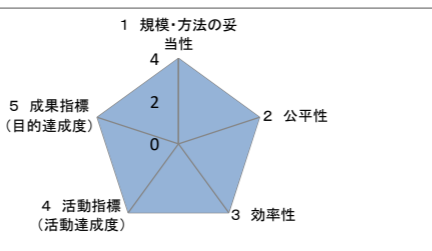
カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議レス)
			○	

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	4
5 成果指標(目的達成度)	4



継続	二次評価コメント
継続	当該事業は、郡山インター線及び東部幹線を中心に面的な整備を行い、中心市街地と周辺部を結ぶ交通体系の確立と計画的な市街地整備を行うものである。 令和4年度は東部幹線の橋梁上部工の整備を行うとともに、逢瀬川河川改修事業に併せて河川用地に位置する建物移転補償を実施したところである。 事業費ベースの進捗率が計画を下回っているが、これは事業計画の変更に伴うものであり、計画変更前の総事業費に対する事業費ベースの進捗率で比較すると、前年度から7.9ポイント上昇しており、順調に事業が進捗していることが窺える。 都市基盤の整備を推進するためにも、今後も継続して事業を実施する。

(参考) 令和4年度カイゼンのための行動計画

--

1 事業概要

Table with 5 columns: Policy System, SDGs, Broad Area, Methods, and Intent/Purpose. It details the project's goals and the specific measures taken to improve infrastructure and public facilities.

Table with 4 columns: Past Environment (Background), Current Environment, Future Environment (Forecast), and Resident Opinion Analysis. It provides context on the area's infrastructure challenges and the expected benefits of the project.

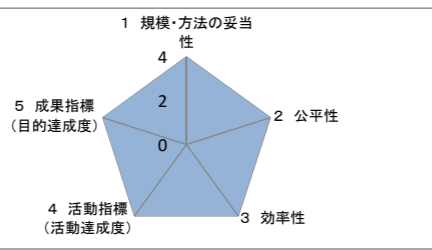
2 事業進捗等（指標等推移）

Large data table showing progress indicators from 2020 to 2025. It includes metrics like road extension, building transfers, and costs, with a red box highlighting the 2024 data for road extension and building transfers.

Table with 3 columns: Activity Indicator Analysis Results, Outcome Indicator Analysis Results, and Total Project Cost Analysis Results. It provides a detailed breakdown of the project's performance against its goals.

3 一次評価（部局内評価）

Table for primary evaluation criteria including appropriateness of scale/method, fairness, efficiency, activity indicator achievement, and outcome indicator achievement.



(2) 事業継続性評価

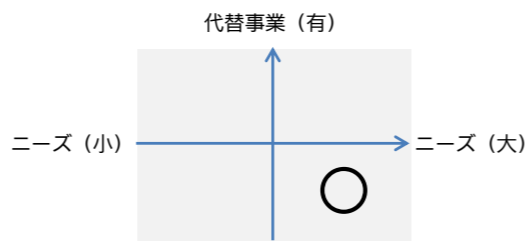


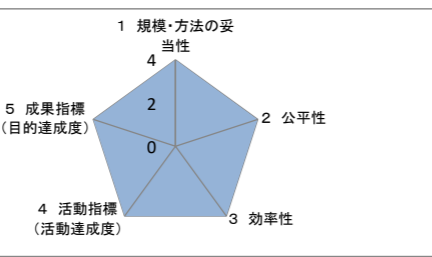
Table for primary evaluation comments, explaining the project's progress and the reasons for its continuation.

Table for digitalization progress, showing 5 steps completed across various categories like counterless, cashless, paperless, etc.

Table for climate change response, showing 'DX (Digital City Office)' and 'Inter-departmental Coordination' as implemented measures.

4 二次評価

Table for secondary evaluation criteria, identical to the primary evaluation table, showing scores of 4 for all criteria.



(2) 事業継続性評価

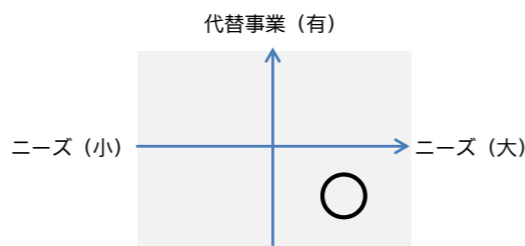


Table for secondary evaluation comments, providing further details on the project's impact and future plans.

Table for action plan, including a reference to the 2024 improvement plan for the department.

1 事業概要

政策体系	SDGs	広域事業	手段	意図（目的）
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	6.2 11.7	-	公共施設総合管理計画個別計画に基づき、多目的トイレを備えた改築を進める。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			トイレのユニバーサルデザイン化を進め、施設利用者の利便性の向上を図る。

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
公園築造当時の老朽化している和式トイレが多く、ユニバーサルデザインを進める必要があり、また、住民から改築を求める要望もあったことから、公園利用者の利便性・快適性の向上を図るために整備が開始された。	公園トイレについては、感染症対策や災害時における指定緊急避難所としての観点から、公衆衛生の向上を図る必要性が増している。	障がいのある人や育児世帯に対応した環境整備、さらには新型コロナウイルス感染症の経験等により市民の衛生環境に対する意識の高まりから、今後も、誰もがより一層安全・安心に利用できる施設が求められる。	これまで整備した箇所については、快適性や公衆衛生が向上し、利用者からは好評を得ているため、未整備箇所についても計画的な整備が求められている。

2 事業進捗等（指標等推移）

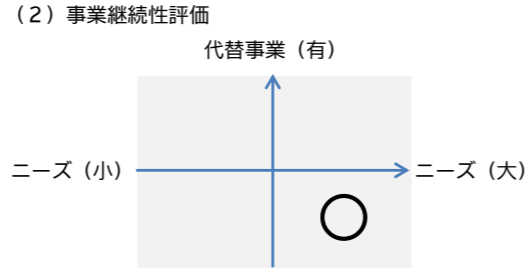
指標名	指標名	単位	まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		八次実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
			2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）	2025年度	2026年度	中間指標	最終指標							
対象指標	公園トイレ数	箇所		157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	2021年度	2025年度
活動指標①	公園トイレのUD改築件数（単年度）	件	4	4	6	5	11	6	12		11							
活動指標②	公園トイレの新築件数（単年度）	件																
活動指標③																		
成果指標①	公園トイレのUD対応率	%	78	78.3	82	81.5	88.5	85.4	93.0		100						82	100
成果指標②	UDに対応した公園トイレの数	箇所	123	123	129	128	139	134	146		157						129	157
成果指標③																		
単位コスト（総コストから算出）	公園トイレ改築1件あたりのコスト	千円		7,713		8,259		9,582	7,986		7,986							
単位コスト（所要一般財源から算出）	公園トイレ改築1件あたりのコスト	千円		3,788		3,619		6,332	3,669		3,668							
事業費		千円		24,723		35,254		49,067	79,632		73,046							
人件費		千円		6,127		6,040		8,422	16,200		14,800							
歳出計（総事業費）		千円		30,850		41,294		57,489	95,832		87,846		0	0				
国・県支出金		千円		0		0		0	0		0							
市債		千円		15,700		23,200		19,500	51,800		47,500							
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		0		0		0	0		0							
その他		千円		0		0		0	0		0							
一般財源等		千円		15,150		18,094		37,989	44,032		40,346		0	0				
歳入計		千円		30,850		41,294		57,489	95,832		87,846		0	0				
	実計区分	評価結果		継続	拡充	継続（6月送り）	継続	拡充										

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
11か所の計画に対し、6か所の改築を実施した。	計画的にトイレの改築を実施したことから、公園トイレのUD対応率が増加し、利便性や快適性の向上が図られた。	<p>【事業費】</p> 前年度に比べ改築したトイレの個所数が1か所増えたことや原材料費や労務価格の上昇等により総事業費や1か所あたりの単位コストが増加した。 また、昨年度に比べ起債対象とならない改築工事が1か所多かったため、一般財源の単位コストも増加した。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	3
3 効率性	3
4 活動指標（活動達成度）	4
5 成果指標（目的達成度）	4



継続	一次評価コメント
継続	公園トイレは、公園利用者に加え公衆用としての役割も有していることから、幼児や高齢者、障がいのある方等、誰もが安全・安心に利用できる施設の整備が求められている。 また、公園は、災害時の避難場所としての役割も有していることから、今後も計画的に事業を実施する。

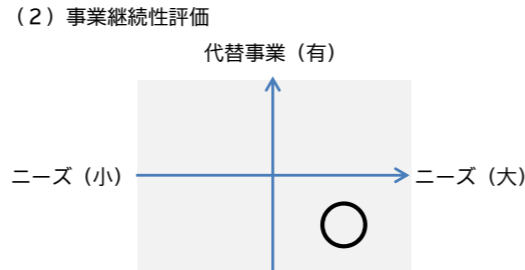
5レズ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
			○	○	

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
		○

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	3
4 活動指標（活動達成度）	3
5 成果指標（目的達成度）	4



継続	二次評価コメント
継続	当該事業は、施設利用者の利便性の向上を図るため、利用頻度等を踏まえ、トイレのユニバーサルデザイン化を進める事業である。 令和4年度は、公園整備事業債を活用したトイレ改修が3件、一般財源によるトイレ改修が3件で合計6件がUD対応トイレとなった。 原材料や労務単価上昇の影響により単位コストは前年度と比較して増加したが、UD対応率は85.4%となり、事業は着実に進捗している。 トイレ改修によりUD対応率及び利便性、快適性の向上が図られ、施設利用者の増加につながり、防犯面での安全性も高まることや災害時の避難場所として必要な施設であることから、継続して事業を実施する。 なお、事業費の増加要因があるものの、単位コストが上昇傾向にあるため、効率的な事業運営に留意する必要がある。

(参考) 令和4年度カイゼンのための行動計画

--

1 事業概要

政策体系	SDGs	広域事業	手段	意図(目的)	
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	11.7 12.8	-	①屋外広告物の許可(新規、変更、更新等) ②違反広告物への対応(調査、指導、簡易除却等) ③屋外広告業者の指導(登録、講習会の開催等)	屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を行うことにより、良好な景観の形成と風致を維持し、また事故等による市民への危害を防止することを目的とする。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち				

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成9年の中核市移行に伴い、屋外広告物に関する事務が県から委譲された。	条例に基づく申請時の審査・指導により適切な規制、誘導を図るとともに、違反広告物については、パトロール等を実施し、良好な景観形成の推進を図っている。	設置者の安全管理や違反に対する意識が希薄であり、制度の理解不足や制度を理解していても違反する場合がある。今後は、屋外広告物条例の許可基準について市民や企業等に周知を図っていく必要がある。	違反簡易広告物等に対する通報等が、市民から寄せられており、減少傾向にあるものの未だに貼られている状況にある。また、屋外広告物の安全確保が求められているため、パトロール等を通じて適正な規制、誘導及び撤去が必要となる。

2 事業進捗等(指標等推移)

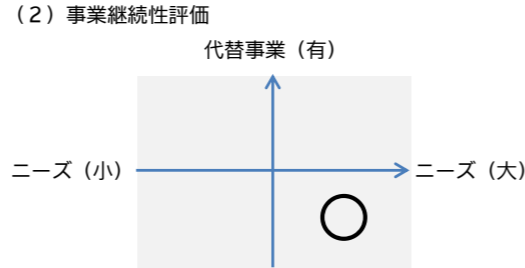
指標名	指標名	単位	まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		八次実施計画	次期実施計画	まちづくり基本指針	
			2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度	2026年度	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度					
対象指標	屋外広告業者登録数	社		365	329	331										
活動指標①	屋外広告物許可申請件数	件	900	1,006	825	917	900	900	900	900	900	900	900	900		
活動指標②	パトロール日数	日	65	36	65	54	65	9	65	65	65	65	65	65		
活動指標③																
成果指標①	許可申請に係る手数料収入	千円	15,000	18,191	15,000	17,699	15,000	17,897	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
成果指標②	違反広告物簡易除却件数	件	2,650	27	2,650	83	500	28	100	100	100	100	100	100	2,650	500
成果指標③	屋外広告物事故件数	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位コスト(総コストから算出)	手数料収入1円あたりのコスト	円		0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
単位コスト(所要一般財源から算出)	手数料収入1円あたりのコスト	円		0	-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費		千円		200	362	267	371	371	371	371	371	371	371	371		
人件費		千円		14,489	14,159	13,770										
歳出計(総事業費)		千円		14,689	14,521	14,037	371	371	371	371	371	371	371	371		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円														
その他		千円		18,191	17,699	17,897	371	371	371	371	371	371	371	371		
一般財源等		千円		-3,502	-3,178	-3,860	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳入計		千円		14,689	14,521	14,037	371	371	371	371	371	371	371	371		
実計区分		評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	継続								

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費(事業費・人件費)分析結果
2年毎の屋外広告物更新申請と新規申請を通じて、適正な広告物の掲出を指導するとともに、違反広告物に対する市内のパトロール及び簡易除却を実施した。	違反簡易広告物が市内全域におよぶため、全てを把握するのは難しい状況にある。市民や関係機関の協力(通報)により違反広告物を除却する。件数は減少しており、今後も継続してパトロールを行うとともに、市民や関係機関と協力しながら、屋外広告物の規制及び指導を行う。	【事業費】 総事業費については、新規許可申請や更新許可申請、未更新催告指導により、前年度並みの手数料収入となった。 【人件費】 人件費については、屋外広告物に対して適正な規制・誘導を図るため、電話や郵便等による催告指導や未許可の屋外広告物調査に要した経費である。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	4
5 成果指標(目的達成度)	4



継続	一次評価コメント
継続	屋外広告物は、常時又は一定期間継続して屋外で公衆に表示されるものであって、看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他工作物等に掲出され、表示されるものになる。これら屋外広告物に対する規制や指導、違反広告物への対応を継続的に実施したことにより、良好な景観形成や安全確保が図られているため、今後も継続して事業を実施する。

5シス

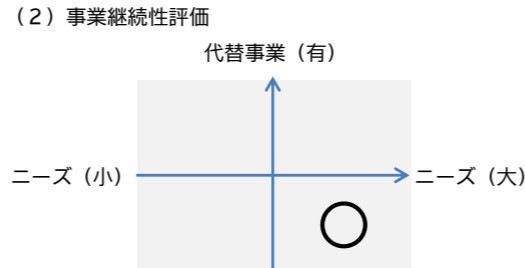
カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議レス)

気候変動対応	DX(デジタル市役所)	部局間協奏
		○

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標(活動達成度)	3
5 成果指標(目的達成度)	3



継続	二次評価コメント
継続	当該事業は、屋外広告物の許可や指導等を行い、違反広告物を除却することにより、良好な景観の形成や風致を維持するとともに、屋外広告物の落下等による事故防止を図る事業である。 令和4年度は、前年度と比較してパトロール日数及び違反広告物簡易除却件数ともに減少しており、令和3年度に行った条例による規制や催告指導を継続したことにより、屋外広告物を設置することに対する抑止効果が働いているものと思料される。 今後においても、良好な景観の形成及び屋外広告物による事故防止のため、関係機関と連携を図りながら、継続して事業を実施する。

(参考) 令和4年度カイゼンのための行動計画

--